

令和2年3月25日

古賀市議会  
議長 結城 弘明 様

補正予算審査特別委員会  
委員長 村松 謙二

### 補正予算審査特別委員会 審査報告書

補正予算審査特別委員会に付託を受けておりました第24号議案「平成31年度古賀市一般会計補正予算（第5号）について」から第30号議案「平成31年度古賀市下水道事業一般会計補正予算（第3号）について」までの7議案について、審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際し、去る3月6日に副市長をはじめ関係部長、課長の出席を求め、各補正予算案の概要説明を受けるとともに、各委員からの資料要求に基づく資料を参考に審査をいたしました。審査の経過につきましては、議長を除く議員18名全員による特別委員会であることから、内容等を含め、ご存じでございますので省略し、概要を報告いたします。

第24号議案「平成31年度古賀市一般会計補正予算（第5号）について」の審査概要としまして、広報事業費、プレミアム付商品券交付金、放課後児童健全育成事業費補助金返還金、就労支援事業費、新規事業者拠点形成事業補助、西鉄宮地岳線跡地土地利用整備事業費、小・中学校の校内通信ネットワーク整備工事、学校給食・事務補助業務従事者人材派遣委託についての質疑を行いました。

討論では、プレミアム付商品券交付金について、本来は消費税が上がることによって影響を受ける方の負担軽減という措置であったものの、結果は使える人と使えない人の格差がおきたことは明確であり、国に対し、実績報告書でこの現状や課題をしっかりと伝えることを求めたい。新規事業者拠点形成事業補助について、起業支援にあたっては行政の役割が問われたことは明らかで、専門的知識や有識者などのソフト面の支援が問われたと思う。今後、人材の掘り起こし、起業支援のあり方については今回の100%減額されたことから学び取ってほしい。児童生徒用パソコン端末配備について、教育の機会均等、義務教育の無償の原則が崩されないよう、地方自治体や家族の経済力の違いによって、通信格差が生じないよう国に強く支援策を求めるようにとの賛成意見がありました。採決の結果、第24号議案は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第25号議案「平成31年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」は、繰越金に関する質疑を行い、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第26号議案「平成31年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について」は、特定健康診査等事業費に関する質疑を行い、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第27号議案「平成31年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について」は、質疑、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第28号議案「平成31年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第4号）について」は、高齢者介護用品給付に関する質疑を行い、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第29号議案「平成31年度古賀市水道事業会計補正予算（第3号）について」は、受水費、給水収益に関する質疑を行い、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第30号議案「平成31年度古賀市下水道事業会計補正予算（第3号）について」は、水洗便所改造奨励金に関する質疑を行い、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではございますが、審査の経過と結果の報告を終わります。